

7 室生の獅子神楽 [無形民俗文化財]

[所在地] 宇陀市室生

[保持団体] 室生神楽保存会

[概要]

宇陀市室生の龍穴神社の秋の例祭でおこなわれる。祭り当日に五つの垣内にて垣内マワシを行い、その後、渡御に加わり、室生寺境内の天神社および龍穴神社で奉納をする。

垣内マワシでは、「竈祓い」の後、〈鈴の舞〉〈魔除け〉〈剣の祓い〉から構成される「シャンコシャンコ」と〈荒獅子〉を舞う。また天神社では雌雄一対で〈鈴の舞〉のさわりを、龍穴神社では雌雄一対により〈鈴の舞〉〈魔除け〉〈剣の祓い〉が舞われた後、〈荒獅子〉で終了する。

室生の獅子神楽は室生寺より獅子を与えられたことより始まるという伝承がある。かつては青年団によって舞われていたが、昭和 55 年に青年団が解散、保存会が結成された。平成 21 年には子供神楽もでき、龍穴神社では保存会の獅子神楽に先立って継承のために保存会と子供神楽による獅子が舞われている。

龍穴神社の祭礼に付随した、宇陀地域の代表的な二人立ちの獅子舞として貴重である。

